

いちばん
づくり課

比和地域で活動開始！

移住定住コンシェルジュを新たに1人委嘱

市は4月1日付で移住定住コンシェルジュ(定住支援員)を新たに1人委嘱しました。委嘱した若林隆志(わかばやし たかし)さんはこれまで総務省から行政相談員として委嘱を受けるほか、比和自治振興区の地域マネージャーとして空き家対策などの取り組みに関わっており、現在は比和自治振興区の区長として比和地域の定住推進に奮励(ふんれい)努力(にっくり)しています。引き続き比和地域で移住希望者と地域のつなぎ役として、これまでの経験を生かした活躍が期待されます。



寺元豊樹(とらもと ゆと)企画振興部長(右)から委嘱状を受け取る若林さん(左)

移住定住コンシェルジュ制度は、移住を希望する方や移住したての方に対するきめ細やかな支援体制を整えることを目的としています。活動は必要に応じて随時行われ、任期は2年です。これまで東城地域、高野地域、口和地域で3人の移住定住コンシェルジュが活動しており、若林さんに加え4人体制となりました。今後も市はこの取り組みを他の地域にも広げ、移住希望者が移住しやすい環境の整備に努めていきます。

～5ページで地域おこし協力隊が持っているアイテムの詳細～

アイテム詳細	隊員活動内容
1 木の駅に木材を出荷したら受け取れる地域通貨『里山券』	木の駅プロジェクト事業の推進
2 有害鳥獣の判別に役立つ『センサーカメラ』	有害鳥獣防除対策の促進活動
3 PRロゴマーク入り『比婆いざなみ街道のぼり』	比婆いざなみ街道物語(北部資源活用計画)の推進
4 庄原地域のにぎわい創出に活用が見込まれる地域電子マネー HIROCA(ヒロカ)機能搭載の『県立広島大学学生証』	県立広島大学の学生・教授と地域をつなぐ仕組みの構築
5 東城市街地の観光のお供に『ぶらり散歩マップ』	農産物や加工品などの地元産品の現状を分析するための市場調査
6 登山ツアーでガイドを行う柳原隊員に不可欠な『トレッキングポール』	高野地域における農村体験交流の推進活動
7 庄原市の特産『比婆牛』	口和地域の資源を生かした活性化策の検討と実践

行政
管理課

グランプリ作品決定！

庄原いちばん動画CMコンテスト表彰式



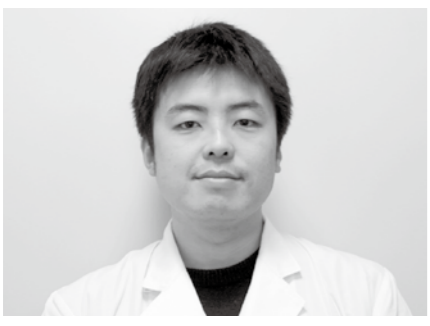
ドローンで撮影した美しい動画が評価された



山本市長から賞状を受け取る林さん(右)

●グランプリ
林 智雄(とみお)さん(西城町)
作品名「芸備線に乗って西城へ来てみんさい！」
平成28年度庄原いちばん動画CMコンテストのグランプリ作品が決定し、3月29日に表彰式を行いました。
「知ってほしい！庄原いちばん！行きたくなる庄原・住みたくなる庄原」をテーマに、市をPRする1〜3分間のデジタル動画を昨年7月から本年2月にかけて募集。8人から19点が出品され、3月22日・23日の審査会を経て次の作品が選ばれました。

総領支所 新所長が診療開始 総領診療所に高張医師が赴任



4月から赴任した高張医師

国民健康保険総領診療所の所長として赴任した高張康介医師が、4月3日から診療を開始しました。
2年間勤務した畑野悠前所長の後任となる高張医師は広島市出身。平成27年4月から本年3月までの2年間、公立みつき総合病院で内科医として勤務経験があり、本年度から総領地域の医療を担います。
高張医師は「平成25年から2年間、庄原赤十字病院循環器内科で勤務していました。庄原は大好きなまちで、帰って来ることができ、うれしく思っています。総領では、より地域に密着した、診療科目にとらわれない幅広い診療を心がけます」と話しています。

生涯学習課 将来のアスリートをめざして アスリート（陸上競技）教室が開校



トラックを懸命に走る参加者

4月13日、庄原市上野総合公園陸上競技場で平成29年度アスリート（陸上競技）教室の開校式を行い、1年間の教室がスタートしました。
3年目を迎えた本教室は、将来のトップアスリートを養成することを目的に、市内の小学3～6年生を対象に一年を通して陸上競技の専門的知識を有する指導者により指導を行っています。
開校式終了後、68人の参加者は早速陸上競技場のトラックを走り、自己への挑戦をしつつ、新しい友だちと交流を深めていました。

教育指導課 期待に胸膨らむ新1年生 平成29年度比和小学校入学式



比和小学校入学式の様子

花壇の花から爽やかな春の香りが届く4月6日、平成29年度比和小学校の入学式を行いました。
6人の新1年生は、新しく始まる勉強や生活への期待に胸をふくらませながらも少し緊張しながら、6年生に手をつないでもらい、笑顔で入場しました。
古家八千代校長が「皆さんが入学してくる日を、きりんさんのように首を長くして楽しみに待っています。先生や友だちのいいところをしっかりと見つけて大好きになりましょう。元氣な声で自分から返事や挨拶をしましょう。先生や友だちの話をよく聞きましょう」とお祝いの言葉を贈りました。
また、在校生を代表して、6年生の川東結羽さんが、「比和小学校には、『笑顔のあいさつ』や『響く歌声』『助け合う心』など7つの宝物があります。いっしょに、この宝物に磨きをかけていきましょう。分からないことは何でも聞いてください」と述べ、歓迎の歌「ドキドキドン！一年生」を全員で歌いました。

商工観光課 庄原市内にある道の駅などが初の連携イベント 「東城春まつり」を開催



多くの来場者でにぎわった「東城春まつり」

3月11日・12日の2日間、庄原市道の駅等連絡協議会が主催し、道の駅「遊YOUさろん東城」を会場に初の連携イベント「東城春まつり」を開催しました。
当日は、庄原市内の5つの交流拠点施設（遊YOUさろん東城・東城きんさい市、ゆめさくら、モーター物産館、道の駅たかの、リストアステーション）がそれぞれの施設のオリジナルメニューを準備し、2日間で市内外から約600人が来場しました。広島牛の鉄板焼きステーキや帝釈おこわなど、市内各地のオリジナルメニューがずらりと並びました。
遊YOUさろん東城の名越支配人は「いろんな施設が一堂に会したイベントは初めての試みだったが、趣向をこらしたメニューでグルメのまち庄原をPRできて良かった。今後もうこうした連携イベントを企画し、多くの方に庄原市を訪れていただくよう取り組んでいきたい」と話していました。
庄原市道の駅等連絡協議会では、今後こうした連携イベントを通じて「グルメのまち庄原」をPRしていきます。

商工観光課 バスツアー・宿泊プランで花のおもてなし はなたびキャンペーンの実施



庄原観光いちばん協議会は3月18日から6月18日(日)までの3カ月間で、庄原を彩る花やガーデン、地元ならではのグルメ、宿泊などが堪能できる「はなたびキャンペーン」を実施しています。「庄原さつやまオーブンガーデン」など、「花のおもてなし」が楽しめる「花たびプラン」を用意しています。
期間中、「花たびバスツアー」や「花たび宿泊プラン」を利用した方には、先着でオリジナルトートバッグをプレゼントするなど、特典も取りそろえています。詳しくは庄原市観光協会ホームページ「庄原観光ナビ」(shobara-info.com/sp/event/1188)をご覧ください。

農業振興課 飼料工場の活用に向け一致団結！ 「和牛TMRセンター」の運営に関する協定締結式



(左から)JA庄原代表理事組合長 片島一平氏、木山市長、全農広島県本部部長 水永祐治氏、(株)庄原市農林振興公社代表取締役社長 山崎逸郎氏

市は、全農広島県本部・JA庄原(株)庄原市農林振興公社と「和牛TMRセンター」の活用に向けて連携を強化していくために、3月29日に協定を締結しました。「TMR」とは、牛にとって理想的な栄養バランスを備えた混合飼料(混ぜご飯)のことで、庄原産の飼料用稲などを原料として製造されます。この飼料を用いることで、飼養の省力化や、発育および肉質の向上などの効果があります。
この飼料の製造工場である「和牛TMRセンター」の県内での整備を全農広島県本部が検討していたことから、市は、県内最大の和牛生産地帯である庄原市への誘致を進め、七塚原地域に整備されることが決定しました。現在、平成30年1月からの施設稼働に向けて準備が進められています。
新たな施設を最大限に活用していくことで、比婆牛を中心とした和牛産地の強化や、水田農業のさらなる振興が期待されます。